

支所001	項目名	大伴家持生誕1300年記念事業補助金		
予算書項目	文化振興費	ページ	51	所 属 名
年度	H30	国府町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0857-39-0555			
款 教育費	【10次総の施策体系】3301			
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】			
目 文化振興費	◆地域振興特定予算 鳥取市国府地域では、万葉集を編さんし、因幡国守として赴任、万葉集の最後を飾る歌を詠んだ大伴家持により地域振興を図っている。平成30年は、家持の生誕1300年を迎える節目の年となる。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】 万葉の巨星「大伴家持」を郷土の誇りととらえ、古代の因幡や万葉集について学んだり「万葉のふるさと鳥取」の魅力を全国にアピールするとともに、豊かな鳥取の文化風土をつたえ、まちづくりをすすめていく。			
補正前額	3,000	【事業内容】		
要求額	10,450	主 催：大伴家持生誕1300年記念事業実行委員会 時 期：平成30年8月～31年3月 場 所：鳥取県民文化会館ほか 内 容：演劇「大伴家持」、記念フェスティバルほか		
総務部長段階査定額	10,450	【今後の取り組み】 万葉集や大伴家持を通して、他府県とも連携し万葉文化に親しむ機会を提供していく。一方、家持大賞、朗唱の会、短歌づくり等を通して万葉集と関連し、地域の活性化策とする。		
市長段階査定額	10,450	【根拠計画】 第10次総合計画 【市民ニーズの状況】 市民より、節目の時期にあたり、大伴家持と万葉集の魅力や功績を伝える記念事業に取り組み、万葉のふるさと鳥取の魅力を広く県内外に発信したいとの要望。		
区分	補正額	* その他財源の諸収入は、自治総合センター助成金		
財源内訳		【その他財源の内訳】		
国・県支出金	0	分担金	0	
地方債	0	負担金	0	
その他	5,000	使用料	0	
一般財源	5,450	手数料	0	
計	10,450	財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		諸収入	5,000	
		その他	0	
行財政改革課処理欄				

支所002	項目名	地域コミュニティ支援事業費		
予算書項目	地域振興費	ページ	31	所 属 名
年度	H30	佐治町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】地域振興課 0858-88-0211			
款 総務費	【10次総の施策体系】3101			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 (一財)自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として実施するコミュニティ助成事業に、津無集落が申請していた事業が採択されたことに伴い、本市を通じて助成するもの			
目 諸費	【事業の目的及び効果】 地域のコミュニティ活動に対して助成を行い、充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与する。			
(単位:千円)	【事業の内容】 コミュニティ助成事業(一般コミュニティ助成事業:補助率10/10、100万円から250万円まで)による大型除雪機1台の導入			
補正前額	0	* その他財源の負担金は、コミュニティ助成事業		
要求額	2,400	【その他財源の内訳】		
総務部長段階査定額	2,400	分担金	0	
市長段階査定額	2,400	負担金	0	
区分	補正額	使用料	0	
財源内訳		手数料	0	
国・県支出金	0	財産収入	0	
地方債	0	寄付金	0	
その他	2,400	繰入金	0	
一般財源	0	諸収入	2,400	
計	2,400	その他	0	
行財政改革課処理欄				

支所003	項目名	街なみ修景整備推進費	
予算書項目	街なみ環境整備事業費	ページ	45
年度	H30		
会計名	一般会計		
款	土木費		
項	都市計画費		
目	都市計画総務費		
(単位:千円)			
補正前額	124		
要求額	389		
総務部長段階査定額	346	その他財源の内訳	
市長段階査定額	346	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	346		
計	346		
行財政改革課処理欄			

事業の概要

【問合せ先】 地域振興課 0857-84-2011

【第10次総の施策体系】 4203

【事業の経過及び背景】
 平成6年当時、鹿野の特徴である城下町地区で建替えられる住宅が、従来の和風基調ではなく、洋風の近代的なものが目立ち始め、街なみ景観の悪化が懸念されていた。また、当時の来訪者は温泉入浴を目的に訪れるものの、地域内消費に結びつかない状況であった。

これらの問題を解決するため、平成6年に基本整備構想「四季薫るまち鹿野」を策定。以降、城下町の街なみを活用しながら、さまざまな観光資源との連携を図り地域活性化を図っている。

【事業の目的及び効果】
 景観に優れた住環境を創出し、住民が誇りをもって定住できる街にするため、城下町の特徴をふまえながら、住民と行政の協働により『鹿野祭り』の似合う和風の街なみ景観の整備・保存の取り組みが進んでいる。

【事業の内容】
 鍛冶町観光駐車場の車両出入り口の修繕（面積/17㎡）。

支所004	項目名	青谷上寺地遺跡利活用推進事業費	
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	29
年度	H30		
会計名	一般会計		
款	総務費		
項	総務管理費		
目	企画費		
(単位:千円)			
補正前額	0		
要求額	275		
総務部長段階査定額	197	その他財源の内訳	
市長段階査定額	197	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	197		
計	197		
行財政改革課処理欄			

事業の概要

【問合せ先】 地域振興課 0857-85-0011

【10次総の実施体系】 3302

【事業の経過及び背景】
 弥生時代の暮らしや社会が体験できる場として国史跡である青谷上寺地遺跡整備の基本設計が平成30年度に出来上がり、平成31年度に整備に着手される予定である。

【事業の目的及び効果】
 青谷上寺地遺跡整備を地域の魅力向上及び活性化を図る良い機会としてとらえ、地域力を活用し、史跡を活かしたまちづくりを行うための人材育成を目的とする。

【事業の内容】
 ボランティアガイド養成やものづくり講座開催にかかる経費